

2016年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科						
科目名	日本語表現法応用Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	藤本 晃嗣						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特性を正しく理解し、使うことができる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・ビジネス敬語を正しく使うことができる。 ・論理的な表現とは何かを理解し、記述できる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の応用力を修得する。 						
日程と内容	9/15 第1回：講義概要および履修心得・学習方法 9/29 第2回：書き言葉の技能 応用 要旨 10/6 第3回：書き言葉の技能 応用 要約 その1 10/13 第4回：書き言葉の技能 応用 要約 その2 10/20 第5回：書き言葉の技能 発展 レポートの書き方 その1 10/27 第6回：書き言葉の技能 発展 レポートの書き方 その2 11/10 第7回：書き言葉の技能 発展 論証 その1 11/12 第8回：書き言葉の技能 発展 論証 その2 11/17 第9回：話し言葉の技能 基礎 敬語1 11/24 第10回：話し言葉の技能 基礎 敬語2 12/1 第11回：話し言葉の技能 基礎 敬語3 12/3 第12回：話し言葉の技能 応用 相手を考えて話す 12/15 第13回：総合応用1 12/22 第14回：総合応用2 1/15 第15回：定期試験 1/22 第16回：解説・復習						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	50%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	日本語表現法、応用Ⅰの内容をもとに、日常の中の敬語表現、手紙の書き方、エントリーシートの書き方など、より実用的な日本語表現の学習を行い、多くの学生が習得できた。						
反省点	それぞれの学生により、課題の進度が異なるため、早く終わる学生や時間内にできない学生がいた。						
来年度の計画	可能であれば、少人数のクラスで、個々の学生に細かな指導ができればよいと思う。						
授業評価アンケートに対するコメント	大きな問題はないように感じた。						
履修登録者数	63名	定期試験 受験者数	63名	合格者数	63名	合格率	100%